

2021.6. 23 文責：田中

新型コロナワクチンについて



◆新型コロナワクチンはどんなワクチン？

インフルエンザワクチンなどは培養ウイルスの死骸を注射するものですが（不活化ワクチン）、新型コロナワクチンはウイルスのスパイクという部品（とげとげの部分）を作る遺伝子だけを注射する新しいタイプのワクチンです。詳しくは mRNA ワクチンとアデノベクターワクチンの2種があります。注射された人の体の細胞で、ウイルスのその部品だけが作られ、免疫細胞に外敵と認識され抗体が作られます。いったん抗体ができると体内に侵入したウイルスに吸着して、感染を防ぐことができます。インフルエンザワクチンのような皮下注射でなく、筋肉注射をします。理由は筋肉注射の方が、高い効果が得られるからです。1回のみでは効果が不十分なので、必ず2回注射します（一般のワクチンについてはリウマチ通信第18号をご覧ください）。

◆日本では複数の新型コロナワクチンが使用されていますが、その違いは？

米国ファイザー社と米国モデルナ社のワクチンがあります。どちらも mRNA ワクチンです。保存がファイザー社は-80℃、モデルナ社は-20℃なので、ファイザー社のものは特別な冷凍庫が必要です。接種間隔がファイザー社は3週、モデルナ社は4週と違いがあります。有効率はどちらも95%前後でほとんど同じです。ちなみにインフルエンザワクチンの有効率は70-90%程度です。モデルナ社のワクチンは保存しやすさから大規模接種で使用されています。

◆どんな副作用/副反応がありますか？

注射部位の筋肉痛（約90%）、倦怠感・頭痛（約20%）、37.5℃以上の発熱（数%）などです。年齢が若いほど、また2回目ほど頻度が高いようです（1回目の3倍程度）。症状は注射後1日から2日以内に起きて数日で消えることがほとんどです。アレルギーは2%程度、強いアレルギー（アナフィラキシー）はその100分の1程度で、これはペニシリン系抗生物質と同じくらいです。発熱などのワクチンの副反応は、むしろ免疫を活性化させるという「主反応」が起きていることの裏返しで、効果の現れと考えていいでしょう。

◆関節リウマチや膠原病の患者はワクチンを接種すべきでしょうか？

感染の予防や、仮に感染しても重症化が避けられる利点があります。上記の副反応などが欠点と言えますが、利点が欠点を多に上回るため、接種することがすすめられます。日本リウマチ学会では、免疫を抑える治療を受けている人ほど接種を優先すべきとしています。

◆ワクチン接種前後で免疫抑制剤やステロイドは続けていいですか？

現時点でステロイドや免疫抑制剤がこのワクチンの効果にあたる影響はわかっていません。日本リウマチ学会では、保険診療で使用している薬剤については（各種抗リウマチ薬、ステロイド、免疫抑制剤）、中止・変更する必要はないとしています。一方、アメリカリウマチ学会では、ワクチンの効果を重視して、薬剤によって接種後1週間、あるいは接種前後1週間は休薬とか、複雑な指導をしています。ここは裏付け証拠が乏しいためはっきりしたことが言えないのが現状です。患者さんによっては、個別に判断する必要もあるため、主治医とご相談ください。



その他

今までに新型コロナに感染している人も、症候性・無症候性のどちらであっても接種することが奨められています。ワクチンの有効性がどれくらい続くかはまだ不明確ですので、流行が終息するまでマスクの装着や手指衛生、密を避ける行動は継続するようアメリカの疾病予防管理センター（CDC）も呼びかけをしています。

新しい先生のご紹介

前任の橋本求先生から、リウマチセンター木曜日外来を引継ぎ、担当させて頂くことになりました、膠原病内科医の大西輝（おおにし あきら）と申します。

私が医師になってからも診断・治療は進歩してきましたが、よりよい医療を提供できるよう患者さんに寄り添って一步一步歩み続けたいと考えております。外来で見かけたら気軽にお声がけください。



大西 輝 先生

受付時間

(内) 膠原病内科医

午前 8 時 15 分～午前 11 時 00 分

(整) 整形外科医

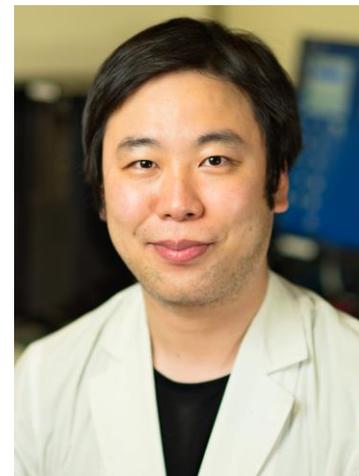
診察室	月	火	水	木	金
107 室					田淵(内)
108 室	鬼澤(内)	村上(内)	田中(内)	大西(内)	田中(内)
109 室	山本(内)		藤井(整) (第 2・4)	村田(整)	村田(整) (第 2・4) 藤井(整) (第 1・3・5)



藤井 貴之 先生

この 4 月よりリウマチセンターに着任いたしました整形外科の藤井貴之（ふじい たかゆき）と申します。薬物療法や手術療法を通じて、関節リウマチ診療に貢献していきたいと思えます。AI や IoT を用いた関節リウマチの個別化医療（患者さん一人一人にあった、最適な医療）や、基礎研究を通じた新たな治療法の開発にも取り組んで参ります。

リウマチセンターの月曜日外来を担当させて頂きます、膠原病内科医の鬼澤秀夫（おにざわ ひでお）と申します。最新の知見をもとに、安心して満足頂ける医療を提供できるように精一杯頑張りたいと思えます。どうぞよろしくお願い致します。



鬼澤 秀夫 先生

リウマチに関するご質問、「リウマチ通信」や「リウマチ教室」で特集してほしいテーマがありましたら、外来主治医または外来秘書にお気軽にお申し出下さい。

お問い合わせは…

京都大学医学部附属病院 リウマチセンター

代表電話 075 (751) 3111 予約電話 075(751) 4891
〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町 54

